

## 森林とともに生きる① (教科書 222～235 ページ)

氏名( )

①日本は世界の国々の中でも、森林の多い国です。国土にしめる森林の割合は約何パーセントですか。(教科書 222 ページ)

約	%
---	---

②森林は土砂くずれの被害を防ぐはたらきがあるといわれています。どうしてですか。(教科書 223 ページ)

③日本にはなぜ森林が多いのでしょうか。あなたの考えを書きましょう。

④森林の多い高知県では、地元の木材をどのように利用していますか。(教科書 226・227 ページ)

⑤教科書 227 ページの 2 枚の絵や「林業を営む筒井さんの話」をもとに、森林がある場合とない場合とで、どのようなちがいがあるのか説明しましょう。

【森林があると】
【森林がないと】

⑥林業にたずさわる人々は、どのようにして人工林を育てているでしょうか。表の左のらんじんに、作業の名前を書きましょう。(教科書 228・229 ページ)

① <small>なえぎ</small> 苗木を育てる	畑で 2～3 年育てる。
②	育てた苗木を、山などに植える。
③	植えた木の成長をさまたげる雑草や木を取りのぞく。
④	太陽の光がよくとどくように、一部の木を切りたおし、木と木の間を広げる。
⑤	チェーンソーで木を切る。プロセッサという機械で枝をはらい、同じ長さ <small>えだ</small> に切り分けたあと、トラックで運び出す。

## 森林とともに生きる② (教科書 222～235 ページ)

氏名( )

① 林業で働く人の数はどのように変化していますか。(教科書 229 ページ)

② 林業で働く人が少なくなったのはどうしてでしょうか。教科書 230 ページを読んで考えましょう。

③ 林業を営む人を増やすために、国や県はどのような取り組みを行っていますか。表の左のらんに、取り組みの名前を書きましょう。(教科書 231 ページ)

緑の	新しく林業の仕事につく人に、 <small>きほん</small> 基本的な技術を学ぶ場を用意する。
	林業に <small>きょうみ</small> 興味のある人を森林の多い地域に <small>まね</small> 招き、林業体験や地元の人との交流をしてもらう。
	1年間、林業の技術や森林管理、 <small>もくぞうせつけい</small> 木造設計などを学ぶことができる。

④ 木材の使用量を増やすために、どのようなことが行われていますか。表の空いているらんに、取り組みの名前や説明を書きましょう。(教科書 231～233 ページ)

<small>もくしつ</small> 木質バイオマス 発電	
	家庭や学校、会社などで、積極的に国産木材の加工品を使う運動。 <small>かんぱつざい</small> 間伐材の利用や新しい技術、素材の開発なども進めている。
<small>シーエルティー</small> CLT	

⑤ 森林を守り、活用するために、わたしたちはどのようなことに取り組んでいけばよいでしょうか。考えたことを書きましょう。(教科書 234・235 ページ)

⑥ 学習した感想を書きましょう。